

- ★ 今、トラフグが注目されています。…………… 1
- 令和元年度上半期の主な事業 …………… 2
- トピックス・イベント散歩 …………… 3
- 令和元年度の役員及び評議員・平成30年度決算の概要… 4

発行：一般財団法人
横須賀西部水産振興事業団
〒240-0101 横須賀市長坂2-2-2
☎ 046-857-6596

今、トラフグが注目されています。

種苗放流を行い、講演会も開催しました。

トラフグ放流

6月25日 (火) に荻野小学校の4年生25名が西浄化センター入口横の岸壁でトラフグの種苗放流の体験をしました。放流後の質疑応答では「トラフグは何を食べるの、どのくらい生きているの、ここに放流したらここに帰って来るの」など多くの生徒から質問が出され、トラフグに興味を持ってくれたことをうれしく思いました。このあと1万尾の稚魚を漁船から小田和湾に放流しました。



荻野小4年生トラフグの放流



7月2日 (火) 海と魚の講演会



講師 中村部長

放流効果：トラフグ漁獲量の増加！
放流尾数の増加とともに、トラフグの漁獲量も増加し、近年は安定的に2トンを超えるようになり、2017年の漁獲量は4.2トンとなりました(図3)。



質疑応答

午後2時から西コミュニティセンターで「増やせトラフグ」と題して海と魚の講演会を開催しました。講師は神奈川県水産技術センター栽培推進部長の中村良成氏、「放流効果で東京湾と相模湾のトラフグ漁獲量が増加していること」や「東京湾口(久里浜沖)で自然繁殖を確認し、放流ものだけでなく、天然魚の増につながる」と報告がありました。これからトラフグの動向に注目していきます。

令和元年度 上半期の 主な事業

令和元年度、当事業団は地域活動の支援、水産振興を事業の柱として、海岸清掃や種苗放流、研修会開催などの事業を行ってきました。本年度前半の主な事業活動を紹介します。

長井の海を清掃、ヒラメとマダイの種苗放流を実施しました。

6月2日 (日)

荒崎海岸クリーンフェスタ2019初夏が開催され、約180人の家族連れが参加し海岸清掃とヒラメの種苗放流などが行われました。



ヒラメの放流

ヒラメの放流

受付・海岸清掃

ペーパーファイのダンク

7月9日 (火)

ヒラメの種苗8,000尾を小田和湾に放流しました。そのうちの1,000尾は長井小学校4年生約50名が新宿漁港から「大きくなって戻って来てね」と声をかけながら放流しました。ヒラメ放流の後、県立海洋科学高校長井実習所の見学を行いました。



長井小3年生ヒラメの放流

7月30日 (火)

マダイ8,000尾をチャーター船から小田和湾に種苗放流しました。

8月2日 (金)

朝9時から恒例の富浦公園前海滨清掃が行われ、長井中学校生徒の有志80名が中心となって、ゴミとアオサ清掃を行いました。夏の暑さの中、全員ががんばってきれいな砂浜と干潟になりました。



長井市場食堂がオープン



4月19日(金) 11時から長井町漁協地方卸売市場2階に長井市場食堂がオープンしました。朝獲れの新鮮なさが食べられ、毎日にぎわっています。電話046-887-0340



トピックス

キャベツで育てたムラサキウニの試食会の開催



6月15日(土) 横浜中央卸売市場本場にある丸魚水産にてキャベツの残渣で育てたムラサキウニの試食会が開催されました。

この調査研究は大楠漁協が各機関の協力を得て販売できるウニを育てることを目標に行って今年は少しですが出荷しました。

とはいえ質と量をそろえていくにはまだ課題があるとのこと。



令和元年度の役員及び評議員

平成31年4月1日「一般財団法人横須賀西部水産振興事業団」は6年目をスタートし、次の4名の役員に変更がありました。理事の原邦彦氏、成田肇氏が辞任し横須賀市経済部農業水産課長の佐藤洋二氏、また横須賀市上下水道局技術部計画課長の辰馬和義氏が就任、監事については金子一美氏が辞任し横須賀市市民部西行政センター館長の内田康之氏が就任しました。また評議員の長谷川浩市氏が辞任し横須賀市上下水道局技術部長の成田肇氏が就任しました。

役員(理事10名、監事2名)名簿

令和元年5月31日(敬称略)

No.	役職名	氏名
1	理事長	福本 憲治
2	副理事長	太田 議
3	専務理事	正木 道雄
4	理事	今井 利為
5	理事	梶ヶ谷 憲一
6	理事	佐藤 洋二
7	理事	辰馬 和義
8	理事	新倉 繁
9	理事	原 忠
10	理事	平野 敏幸
1	監事	内田 康之
2	監事	藤村 幸彦

(五十音順に記載)

評議員(10名)名簿

令和元年5月31日(敬称略)

No.	役職名	氏名
1	評議員	上之段 功
2	評議員	小杉 邦洋
3	評議員	清水 詢道
4	評議員	砂村 芳行
5	評議員	鈴木 秀雄
6	評議員	田中 達夫
7	評議員	栃木 稔宏
8	評議員	成田 肇
9	評議員	原田 洋治
10	評議員	樋爪 由幸

(五十音順に記載)

平成30年度 決算の概要

令和元年5月31日に開催された令和元年度定時評議員会において、平成30年度の事業報告及び決算について承認されました。平成30年度の経常収入(利息)は6,015,000円、支出は事業費及び管理費を合計して19,218,697円であり、当期経常増減額は13,203,697円の減となり、その減を基本財産の取崩及び繰越金支出により収支のバランスを取りました。この結果、正味財産期末残高は29年度末の残高より14,206,578円減少し485,223,052円となりました。決算の概要は次のとおりです。

決算の概要(平成30年4月1日から平成31年3月31日まで)

I 一般正味財産増減の部

1. 経常増減の部

(1) 経常収益	
① 基本財産運用益	5,988,074円
② 雑収入	26,926円
経常収益計	6,015,000円
(2) 経常費用	
① 環境保全事業	2,750,423円
海岸・海浜清掃用品、啓発用品	
海岸・漁港清掃助成金など	
② 調査研究及び保護培養事業	6,858,915円
小田和湾藻場分布調査費	
種苗購入費など	
③ 研修事業	895,659円
海と魚の講演会	
海難防止と救命救急研修会	
漁業、新しい取組みを学ぶ研修会III	
④ 広報事業	977,927円
西部水産振興だよりNo.41、No.42製作費	
「甞れ、小田和湾藻場環境II」印刷費	
⑤ 経営安定事業	6,000,000円
漁業協同組合に対する経営資金等の助成金	
事業費計	17,482,924円

⑥ 管理費	1,735,773円
役員の会議出席報酬	
関係団体年会費等負担金など	
※人件費は各事業に配分し支出している。	
経常費用計	19,218,697円
当期経常増減額	△13,203,697円

2. 経常外増減の部

(1) 経常外収益	12,000,000円
(2) 経常外費用	0円
当期経常外増減額	12,000,000円
当期一般正味財産増減額	△1,203,697円
一般正味財産期首残高	26,340,998円
一般正味財産期末残高	25,137,301円

II 指定正味財産増減の部

当期指定正味財産増減の部	△13,002,881円
指定正味財産期首残高	473,098,632円
指定正味財産期末残高	460,095,751円

III 正味財産期末残高

正味財産期末残高	485,223,052円
----------	--------------

イベント散歩

前島密没後100年墓前祭

4月27日(土) 芦名の浄楽寺で郵便の父として功績をたたえられている前島密の墓前祭が開かれました。郵政関係の方、また地域の方も参加されていました。



また国道沿いのゆかりの郵便ポストも見てきました。



第16回 湘南国際村めぐりの森植樹祭

5月12日(日) 植樹祭に参加しました。緑を増やすにはこうした努力が必要だと感じました。準備された皆さん、お疲れ様でした。



ヨコスカ恐竜パーク 2019

8月4日(日) うみかぜ公園で開催されているヨコスカ恐竜パークに行きました。朝10時、開館前に200人くらいの列ができていました。

